

### 3 健康経営を支援

# 健康経営の基盤作りに役立つソリューション提供を中心とするヘルスケア事業の拡大

NTTテクノクロスのヘルスケア事業は、同社の前身の1つである旧NTTアイティの時代から約30年にわたる歴史がある。近年はそのノウハウを活かし健康経営（本特集 ■ を参照）に取り組む企業の支援に注力しているほか、文教分野など企業以外へのソリューション提供も拡大しようとしている。

## 健康管理システム“HM-neo”で健康経営の基盤づくりを支援

NTTテクノクロスのヘルスケアソリューションには長い歴史がある。中核となるのが企業向けの健康管理システム HM-neo だ。企業の保健スタッフにおける健康診断の計画の立案と実施に必要な各種情報を管理しており、健診受診状況などの予実管理も実施できる。また、健診結果はもちろんのこと、その後の保健指導・面談記録に加え、それらの業務を補完するための異動履歴、残業時間、特定業務に従事する従業員の業務履歴など、さまざまな情報を管理、活用しやすい仕組みをシステムで提供する。労基署報告などの法令により提出が求められる各種書類も出力しやすい。

システム構成はニーズに応じてクラウド型、オンプレミス型から選択可能であり、企業や健康組合、大学など多くの組織で利用されている。

「HM-neo に蓄積したデータにより、個人に合わせた効果的な健康指導ができます。近年は健康経営の基盤作りに健康管理システムを活用し

たいというご要望が主流になっています。NTTグループ内外を問わず、健康経営に役立つ仕組みを必要としているお客さまは多くいらっしゃいます。」（福永氏）

## 健康データ可視化ツール“HM-viewer”

健康経営をより一層支えるソリューション開発も進めている（図1）。その1つが2022年4月に提供を開始した健康経営施策支援のためのBIツールである HM-viewer だ。HM-viewer は HM-neo と組み合わせることも、単体で導入することも可能となっている。



NTTテクノクロス株式会社  
デジタルトランスフォーメーション事業部  
（左） 第四ビジネスユニット長 福永 友佳氏  
（右） 営業部門アシスタントマネージャー 横内 創氏

「標準的な分析を行うためのテンプレートは予め用意されていますが、分析の支援も行います。お客さまと話し合いながら仮説を立て、分析を進めている事例がすでに複数あります。今後は HM シリーズとし

健康管理業務	健康経営プロセス	1.健康経営課題把握	2.健康施策策定	3.施策実施	4.効果検証
健診業務を支援	右記の健康経営プロセスを支援	<input type="checkbox"/> データの分析 <input type="checkbox"/> 課題の抽出	<input type="checkbox"/> 課題解決施策の検討 <input type="checkbox"/> 実施計画の策定 <input type="checkbox"/> KPIの設定 <input type="checkbox"/> 経営層・社員説明と承諾	<input type="checkbox"/> 施策の実施 <input type="checkbox"/> 啓蒙	<input type="checkbox"/> 実施結果の収集 <input type="checkbox"/> KPI到達度確認
総合健康管理システム HM-neo	健康経営支援ソリューションシリーズ・HM-viewer	HM-viewer提供済 分析機能の活用、拡張 ①判定区分集計 ②健康経営指標経年分析 ③健康経営リスク分析 等	⑤健康モニタリング ⑥従業員セルフケア支援 ⑦職場活性化・エンゲージメント向上支援 ⑧健康経営支援コンサル	<データ可視化> ④投資効果評価	

図1 健康経営支援ソリューションの進化とカバー範囲

て展開するさまざまなソリューションを検討しています。」(福永氏)

### 社員や生徒の不安・不調を 把握しやすい仕組みを提供

コロナ禍により急増したテレワークなど、新しい働き方への対応を目的に提供を開始したのが“ひかりワンチーム SP for テレワーク”だ。日々の勤怠、体調、気分などを報告する簡単な質問形式のUIが用意されている。NTTテクノクロス自身も社内で利用しており、このツールのメリットを実感しているという。

「半年や年に1度のストレスチェックでは把握しきれなかったような日頃の心配、不調を素直に伝えてくれる人が増えました。上司側にもフォローしやすいというメリットがあります。」(福永氏)

2023年3月からは株式会社ミライト・ワン・システムズと共同で、東京都立高等学校・中学校向けに同社の“都立学校版コンディションレポート”を提供している。要件定義も共同で行い、現在は主に運用と利用促進活動を支援している。

社員や生徒の不安を知り、守りたいという思いが伝わることも重要であるという。

「日々の不安や不調について他の人に相談するのは、誰でも勇気が要ることです。社員が上司に、生徒が先生に相談するシーンでも同様のことが言えます。これらのツールは簡単な質問にチェックを入れて答えるだけで誰かに気づいてもらえるので、不安をかかえる社員や思春期の学生にとっては特に重要なツールになると考えています。」(横内氏)

### ヘルスケア事業の拡大

NTTテクノクロスは図2に示すようにヘルスケア事業を拡大しようとしている。前述の文教分野での取り組みに加え、本特集 2 で紹介したように“ひかりワンチーム SP”で地域

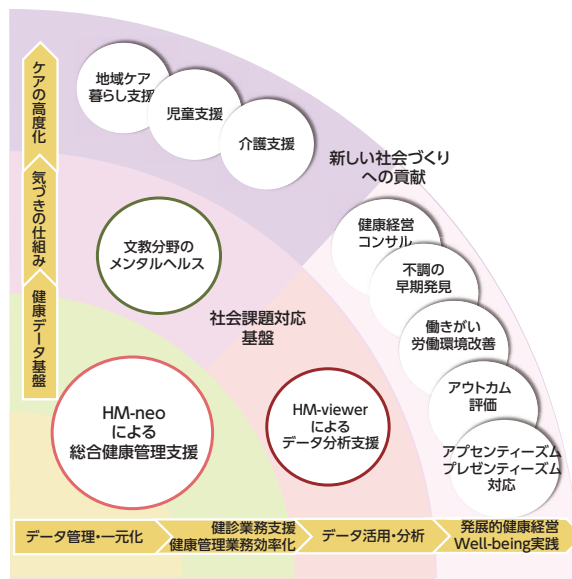


図2 ヘルスケア事業の拡大イメージ

包括ケアを支える取り組みも進めている。「自社製品にこだわり過ぎるとお客様のニーズに素早く応えられない可能性があるため、お客様やパートナーとの連携も重視しています。文教分野での協業はそのファーストケースでした。文教分野、地域社会に加え、将来的には自治体が抱える社会課題の解決に役立つようなヘルスケアソリューションも提供していきたいと考えています。」(福永氏)

### お客様の声

健康経営が注目される前から、長年にわたり経営課題として社員の健康管理に取り組んでいる味の素株式会社(以下、味の素)がHM-neo、HM-viewerを活用している。

「HM-neoによって保健スタッフ1人当たりの労働時間を年間で151時間削減できました。これにより新たな施策の立案や保健スタッフ同士の連携に時間を割けるようになり、健康管理業務の質向上にもつながっています。

開発段階から協力してきたHM-viewerも活用し、高い分析スキルを持つ担当者のお話では、年に50時間ほどの余裕が生まれたそうです。

またそうした専門家が作成した分析メニューを利用することで、専門知識がない人でも深い分析を行えるようになりました。施策の効果判定にも役立っています。

社内ポータルサイトもHM-neoと連携しています。HM-neoの情報を使い、より個人に合わせた情報を見せることで、行動変容を促すことにも取り組みたいと考えており、NTTテクノクロスとさらに協力できれば、と思っています。

HM-neoやHM-viewerの仕組みは非常に良く出来ているので、NTTとしてもっとアピールしてほしいとすら思っています。」(浅井氏)



味の素株式会社  
人事部 労政・総務グループ  
浅井 誠一郎氏